

## 平成 21 年度国立大学図書館協会賞審査結果報告（その 1）

1. 応募区分 : 図書館活動における功績
2. 対象者 : 筑波大学附属図書館プロモーションビデオ制作ワーキンググループ
3. 件名 : 図書館プロモーションビデオ「週 5 図書館生活、どうですか? THE MOVIE」を中心としたプロモーションサイトの構築
4. 結果 : 採択
5. 理由

本件は、図書館利用案内のためのプロモーションビデオの企画と、ビデオを中心として、図書館利用ガイドとなるコンテンツをまとめたプロモーションサイト構築による広報活動である。

図書館利用案内ビデオの改訂にあたり、従来のあり方の見直しによる新しい視点からの利用案内ビデオの企画とビデオを含むサイトの構築により、施設・設備の紹介、利用手続きの解説といったこれまで多く見られた形式からの脱却と、インターネット環境を考慮してより高い効果を目指した意欲的な活動である。

筑波大学のこれら一連の広報活動は、次の点で大学図書館の広報活動において先行的で独創性を有しており、「国立大学図書館協会賞選考基準」第 4 条第 1 項第 1 号に該当するものとして国立大学図書館協会賞に推薦する。

- (1) 学生の日常の学習や活動と図書館利用を関連付けた構成、学生の協力による製作等により、「学生が知りたいこと」を伝えることをテーマとした学生の視点を重要視した親しみやすい図書館利用案内を企画し、これに成功している。
- (2) 「図書館のプロモーション」という観点を導入し、同時にインターネットによる情報提供環境を考慮して、利用案内ビデオにとどまらず、新しい利用法の提案など、図書館利用に関する多様なコンテンツを掲載したサイトを構築していること。また、アンケート結果やそのフィードバックも掲載して利用者との双方向コミュニケーションを図っている。

以上

## 平成21年度国立大学図書館協会賞審査結果（その2）

1. 応募区分 : 図書館活動における功績
2. 対象者 : 岡山大学附属図書館貴重資料教育普及プロジェクトチーム
3. 件名 : 岡山大学附属図書館所蔵貴重資料の教育普及プロジェクト  
～ワークショップ・まちあるき手法を取り入れた貴重資料活用事例～
4. 結果 : 採択

### 5. 理由 :

本件は、地域に密着した貴重資料をデジタル化するとともに、その成果物を活用して地域を対象としたワークショップ・公開講座を学内の学部等とも連携して開催している教育普及活動である。

具体的には、地域資料としても貴重な江戸期の藩政資料である「池田家文庫」から、絵図をデジタル化しただけではなく、これを活用して教育学部と連携した「池田家文庫 こども向け岡山後楽園発見ワークショップ」と、附属図書館の主催する岡山大学公開講座「池田家文庫絵図をもって岡山を歩こう」を開催することにより、デジタル化資料の新たな活用方法を実践したものである。

岡山大学のこれら一連の教育普及活動は、次の点で「国立大学図書館協会賞選考基準」第4条第1項第3号に該当するものとして国立大学図書館協会賞に推薦する。

- (1) 平成9年から毎年開催している絵図展によって蓄積された知識・経験と、絵図のデジタル化事業の成果を活用した図書館員が深く関わった教育普及活動であり、デジタル化した貴重資料をネット上で公開するだけでなく、出力結果を教育普及活動における教材として活用しているのは、他大学の範となる。
- (2) 活動の対象が地元の小中学生と公開講座の受講生であり、図書館の役割について地域社会での認識を深めたことは評価できる。
- (3) 教育学部との連携、公開講座の開催を通して、図書館以外からの学内協力を得て大学の活動として行っている点と、その中においても図書館員が主体的な役割を担っている点は評価できる。